

社長からのメッセージ

関西そして日本の発展に貢献していくために

「安全・安心」と「お客様第一主義」を追求します

私たちは、航空機による高速大量輸送を支える国際拠点空港として「安全・安心」面で国際的に高水準の空港を目指しています。これまで、航空機の運航とお客様の安全を確保するため、空港施設のメンテナンスに万全を期すとともに、緊急事態を想定した訓練を繰り返し実施するなど積極的に取り組んできました。私たちは常日頃からこのことを意識し、考え、行動し、「安全・安心」が全てに優先するという風土を大切にまいります。

また、「安全・安心」とならんで「お客様第一主義」の実践が私たちの使命です。私たち一人ひとりがお客様第一主義のマインドで、全てのお客様に満足していただくために気概を持って活動してまいります。今年、より多くのお客様にご満足いただけるよう、開港以来初めてとなる国際線出国エリアの大規模リニューアルを行い、「KIXエアサイドアベニュー」として店舗や利便施設を充実させました。ご出発前の一ひとときを皆様楽しんでいただければ幸いです。

これからも「安全・安心」と「お客様第一主義」を追求してまいります。

地球環境的視点に立った取り組みを進めます

関西国際空港は、公害のない環境に配慮した「環境フレンドリー」な空港として造られました。これまで、空港の根幹的な問題である騒音問題への対応だけでなく、空港で発生する排水やごみを自ら処理し、海域環境の創造も行うことで、環境負荷の少ない「エコ愛ランド」として歩んできました。

近年、世界的に地球温暖化対策への要請が高まるとともに、航空業界全体としても環境問題への取り組みが活発になりつつあります。私たちは環境管理計画「エコ愛ランド推進計画」を策定し、温室効果ガス削減などの目標を具体的に掲げています。クリーンエネルギー導入の第一歩として、貨物上屋の屋根に太陽光パネルを設置する作業を開始したところですが、今後とも空港内事業者とともに地球環境的視点に立った取り組みを進めてまいります。

国際拠点空港としての価値の向上に努めます

関西国際空港を取り巻く情勢は厳しい状況が続く一方で、アジアの航空会社を中心に新規就航・増便があり、緩やかな需要回復の兆しも見え始めています。また、当社の財務構造や関西三空港のあり方について各方面で議論がなされました。

このような中、国土交通省の成長戦略会議が取りまとめた報告書で「関西会社のバランスシートの抜本的な改善、関空の本来の優位性を活かした競争力強化策、伊丹の活用のあり方、という相互に関連する諸課題について速やかに抜本的な解決を図り、関空を首都圏空港と並ぶ国際拠点空港として再生する必要がある」とされています。

私たちとしても、航空ネットワークの維持拡大に向けて地元自治体、経済界と連携したエアポートセールスやLCC（ローコストキャリア）の積極的誘致に注力するとともに、国内空港で初となる「医薬品専用共同定温倉庫」を整備して他空港との差別化を図るなど、国際貨物取扱機能の向上にも努めています。

今後、観光立国の推進や経済のグローバル化がますます進む中、世界と日本の結節点である関西国際空港が果たすべき役割は実に大きいと認識しています。

関西国際空港は、4,000m級の複数滑走路を有する完全24時間空港という特長を持つわが国唯一の国際拠点空港であり、「アジアそして世界と関西を結ぶゲートウェイ」、「日本唯一の国際貨物ハブ空港」という空港像を目指しています。国際拠点空港としての関西国際空港の価値の向上に努め、関西そして日本の成長と発展に貢献してまいります。

2010年7月

関西国際空港株式会社
代表取締役社長

福島 伸一

